

第一部総合ジェンダー分科会（第24期・第4回）議事要旨

日時 2018年7月27日(金) 10:00～12:00

場所 日本学術会議 5・C（1）会議室

出席 永瀬、和泉、伊藤、井野瀬、上田、大串、後藤、杉田、巽、本田、藤原

参考人 吉原

欠席 窪田、仲、二神、吉田

議題

1. 調査の実施状況について（資料）

- ・状況について永瀬委員長から報告があった。

2. 調査回答拡充の手立てについて

○具体的方策について

①夏季部会で

- ・学術会議から協力学術研究団体に調査協力依頼を出してもらうことについて了解をとる
- ・実施状況のデータを配り、それぞれが所属する加盟学会に働きかけていただく
- ・ギース加盟学会以外の所属学会の名前を挙げていただき、そこに働きかけていただく

②メールで

- ・ギース加盟学会にはギースから、それ以外の学会には分科会から、協力依頼のメールを出す。
- ・学会の配布物に協力依頼のプリントを加えていただく
- ・諸学会連合（学会連携体）にも呼びかける
- ・所属大学・部局の中に流す

③対面で

- ・各学会の理事会や学会で、協力依頼のプリントを手渡しする
- ・所属大学・部局の教授会で、協力依頼のプリントを配布する

3. 年度末のシンポジウムについて

- ・2月9日（土）、学術会議講堂に決定。（13:00～17:00）
- ・分科会とギースの共同主催とする。
- ・内容案

司会 （巽）

アンケート集計・分析結果の報告 （調査担当者）

ギースの活動報告 （井野瀬委員長）

ギース加盟学会からの取り組み等の発表

加盟学会との対話

講演

4. その他

- ①和泉副委員長から、意思統一を図るためにグッド・プラクティス・スキームを作ることについて提案があった。参考資料としてイギリスのアテナ・スワン・憲章が配られた。

↓

- ・学術会議の「科学者の行動規範」にジェンダー平等の内容を盛り込むよう働きかける
- ・ギース憲章の作成について検討する。

- ②アジア学術会議（12月）に発表申請を行う